

会 議 結 果

会議名 (審議会等)	令和元年度 第2回高砂市子ども・子育て・若者会議
開催日時	令和2年1月21日(火) 18:30~19:40
場 所	高砂市役所 南庁舎5階大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴者定員数: 10人) (傍聴者数: 0人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	こども未来部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) 高砂市子ども・子育て・若者支援プラン素案に対する意見募集で提出されたご意見と市の考え方について (2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係る高砂市子ども・子育て・若者支援プラン(案)について
出席者	委員14名(欠席6名)
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	<p>皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日の会議資料の確認をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【配布資料の確認】</p> <p>1 開 会</p> <p>それでは定刻になりましたので、令和元年度第2回高砂市子ども・子育て・若者会議を開会いたします。開会に先立ちまして、当会議の公開についてですが、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開させていただいております。また、本日の傍聴者については、ございません。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは議題に入る前に、本日の委員20名のうち14名の出席をいただいております。出席過半数となりましたので、高砂市子ども子育て若者会議条例第6条第2項により会</p>

<p>委員長</p>	<p>議が成立しておりますことをご報告申し上げます。また、本日、子ども・子育て・若者会議は、本年度最後の会議となっております。委員長、委員の皆様、最後までよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>これより会議の進行は委員長にお願ひいたします。</p> <p>皆さん、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。それでは、議題に入りたいと思います。「高砂市子ども・子育て・若者支援プラン素案に対する意見募集で提出されたご意見と市の考え方について」の説明を事務局からお願ひいたします。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 高砂市子ども・子育て・若者支援プラン素案に対する意見募集で提出されたご意見と市の考え方について</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局より、資料①、②に基づいて説明】</p>
<p>委員長</p>	<p>事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問などがございましたら、お願ひいたします。</p> <p>【意見なし】</p> <p>ないようですので、続きまして、議題2、「第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係る高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（案）について」の説明を事務局からお願ひします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係る高砂市子ども・子育て・若者支援プラン（案）について</p> <p>【事務局より、資料②に基づいて説明】</p> <p>この2カ年、この会議の中で、委員長はじめ委員の方にはたくさんのご意見を頂きまして、このプランの作成をさせていただいたところです。ただ、たくさんご意見を頂いたのですけれども、具体的にそれが施策に出ていないようなところもありますが、今後、そういったご意見は、貴重なご意見として真摯に受け止めまして、計画を進める上で、また検討のほうを進めていきたいと考えております。以上でございます。</p>

委員長	事務局からの説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。
委員	<p>新規事業の67ページの「適応指導教室」のところ、この施策の内容をどう表現するのかという部分で気になったので、意見を述べさせていただけたらと思います。</p> <p>「精神的・身体的理由で」なのですが、皆様ご存じのように、やはり経済的な理由で学校に行けない子どもたちというのも、今いないわけではない状況があるので、これに「など」を入れて、はっきり「経済的」と書いていただいたほうが明確かなと思うのですが、書きづらければ「など」を入れていただけたらどうかということ。それから、「適応指導教室」という名称自体がそれを意味しているのかもしれませんが、</p> <p>「集団への適応能力を伸ばし」というのは、当事者である子どもが見たときにとてもしんどい言葉だなと思ってしまうので、こここのところの表現も少し変えていただけないかなというのが、私の意見です。</p>
事務局	「適応指導教室」という名前でここを表現させていただいているのですが、一般的には、「のびのび教室」という名前で表現させていただいています。「精神的身体的理由」というところですが、「など」を入れさせていただきたいと思います。
委員	「適応能力を伸ばし」というのは、やはり変えられないものなのではないでしょうか。そもそもこれは主な施策なので、高砂市さんの独自の名前で書くというのも具合が悪いのでしょうか。学校に行かなくてはならないという価値観が、ここから見えてきてしまうと思うのです。それは、本当にいろいろな理由で行けない子どもにとってどうなのだろうと。それを少し緩やかに書くことはできないかなという提案です。
事務局	検討させていただけたらと思います。
委員長	ありがとうございます。ほかに、いかがでしょうか。
委員	内容で、55ページの施策番号3-1-2-6の「外国人幼児等への支援・配慮」というところで、園のほうでそういう外国人のお子さんを受けることがあったのですけれども、大概ハーフの子で、両親のどちらかがお話しできるとか、日本人であるとかということ

<p>事務局</p>	<p>が多かったのですけれども、今後、両親ともが外国人だという場合に、園としても非常にバックアップしていきたいと思っているのですが、この施策の中で、具体的にどんな支援とか配慮をお考えになられているかというところを少しお聞きしたいと思います。</p> <p>また細かくは決まってははいないのですが、通訳であったり、そういった何らかのことになるかとは思いますが、今後、さまざまな人種の方が来られるかもしれませんので、そういうふうを考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>外国人の幼児等への配慮ということで、就学前の教育・保育のところにつきましては、国のほうからも翻訳機などの財政支援などございます。本市の場合は、まだ、公立・民間園含めて、そういった翻訳機の導入は行っておりませんが、また、そういったところにつきましても、各園の先生方のご意見を聞きながら、またそういった外国人に対する配慮、スムーズな子どもの受け入れができるような体制を考えていきたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。ほかにはよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>69ページの下段ですけれども、黒枠の新しい施策ということで、6-3-1-6、6-3-1-7ということで、「子どもサポートの充実」、「保育所等訪問支援の充実」ということで書いてありますけれども、これは今もされているような内容で、新たなということで、今されていること以上に何か新規な取り組みというのがもし決まっているようでしたら、教えていただきたいと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員からございました「子どもサポートの充実」、「保育所等訪問支援の充実」ということで、今現在、児童発達支援センターにあります高砂児童学園のほうで、委員がおっしゃいますように、現在、既に実施している事業でございます。前回の計画の時点では、この2つの事業につきまして実施がなかったことから、計画にはなかったということで、このたび、新たに新規というような記載をさせていただいております。</p> <p>また、内容につきましても、現在、「子どもサポートの充実」ということで実施は行っておるところでございますけれども、やはり、実施している範囲につきまして、公立園ではそういった実施は広がっているものの、民間園についてはそういったところの周知</p>

	<p>や連携というの、まだこれからだということがございますので、そういったところも充実を行っていきたいと考えております。</p> <p>「保育所等訪問支援」につきましても、各保育所や小学校等で保護者からの依頼というところでございますけれども、この制度につきましても、年々増えている状況でございます、より関係施設と、そういった子どもたちの発達特性、配慮という点が、保護者や担当職員等のアドバイスが行えるように、連携が必要と考えておりますので、より一層連携を行っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>先ほどの児童学園さんの件ですが、前回、質問で、学童保育所のほうも混ぜてという話をさせていただきまして、調整していただいて、学童でのそういう案件についても取りまとめをした形で、児童学園さんのほうにご相談をしたら来ていただけるという体制を取っていただきましたので補足させていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ほかには、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>51 ページの「産後ケア事業の実施」ですが、すごく期待するところで、これを新しくされるのだなと思ってうれしく見せていただいていたのですが、宿泊型は、具体的にどのような所を利用して進めていかれるのか、教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>「産後ケア事業」につきましては、平成30年の4月から実施をさせていただいております。宿泊型につきましては、病院や助産所等の空きベッドの活用等によって、宿泊による休養の機会の提供を実施するということです。今現在、受けていただいている医療機関の数は、31年の4月1日現在の数になりますが、宿泊型、医療機関のほうで7医療機関。助産所では、3助産所のほうでお願いしている状況です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>64 ページの下段の6-1-2-4のところですが、現在、子育て世代包括支援センターというのが、保健センターの中に設置されていると思うのです。それで、市役所も新しくなって、その後どういう形で子育て世代包括支援センター、現在の所が大きくな</p>

	<p>るのか、あるいは市役所のほうに新たにできるのかとか、市民としてはどうなのかと思っていますが、その前に「子ども家庭総合支援拠点を開設し」とありますので、この辺は、子育て世代包括支援センターとは別のものなのか、内容的にも具体的なプランがありましたら。また、現在の子育て世代包括支援センターも、現在の所で大きくなるのか、あるいは、市役所が新しくできましたらまた移るのかとか、その辺、高砂市の方針とか分かっていたら、教えていただけたらと思います。</p> <p>この「子ども家庭総合支援拠点」ですけれども、こちらのほうが、一昨年国のほうで、子どもの虐待に関するプランが策定されまして、その中で、2020年までに各市町村において、子ども家庭総合支援拠点を設置しなければならないとなっております、今現在、まだ、立ち上げには至っていないのですけれども、この子ども家庭総合支援拠点というのは、生まれる前から18歳まで、児童全般に対しての相談の体制というものを強化するような拠点となるというものでございます。</p> <p>今現在、子育て世代包括支援センターというものは、健康増進課のほうで行われています。それとはまた別に、要保護児童対策地域協議会は虐待関係の協議会になっておりまして、これは、子育て支援課のほうで取りまとめ等をしております。こういった所の関係機関と、連携をもっと密にして、いろいろな相談事の横の連携であったり、対応の能力をもっと上げていく形で、こういった拠点を設置するとなっておりますので、今後は、子育て支援課のほうを中心となって、子ども家庭総合支援拠点を高砂市のほうでも設置していくというところで考えております。</p>
事務局	
委員	<p>ということは、子育て世代包括支援センターと内容的にはかぶるようなこともあると思うのですけれども、それとは別の組織をつくるということですか。</p>
事務局	<p>組織が大変難しいのですが、その拠点の中にいろいろな組織が入って連携をしていく形になるかと思います。窓口としましては、子育て支援課になるかと考えております。</p>
委員	<p>いろいろな相談施設ができるのはいいことだと思うのですが、ワンストップと言われても、結局どこに行けばいいのかということで、せっかく子育て世代包括支援センターができたので、支援員としては子どものことで相談するのだったら、1カ所どこに行けばいいという、そこを明確にしていきたいです。いろいろあると、どこに相談しに</p>

	<p>行ったらいいのか戸惑うのです。その辺で、新しくいろいろなものができるのはいいのですけれども、「相談するならとりあえずここに行って」というのが分かりやすく、市民に啓発していただけるといいと思います。あまりたくさんできても、結局、どこに行ったらいいのかが分からないといけないと思います。</p> <p>戻りますけれども、今、市役所が新しくなって、子育て世代包括支援センターは別の所にありますけれども、今後は市役所の中にできるのですか。それとも、今のままで、子育て世代包括支援センターは市役所とは別の所という方針なのでしょうか。</p> <p>今現在、新庁舎の建設にあたっております。その中で、今おっしゃいますように、ワンストップ化というところでの考え方の中で、今の予定ではございますけれども、市の考え方としては全体的な1つのワンストップ化というよりも、それぞれの分類に分けて窓口を一本化しようという考え方でございます。その1つとして、福祉であれば福祉の窓口、子育てであれば子育ての窓口ということで、それぞれの課、部は違いますけれども、そのフロアに行けば、それぞれの担当課が横並びにありまして、市民の方が窓口に来られましたら、その担当課が対応はできるような状態を整えるような窓口を、今現在考えております。</p> <p>ですので、この要保護児童の子ども家庭総合支援拠点でありますとか、また、今、保健センターにございます子育て世代包括支援センターでございますけれども、子育ての所で一本化ということで、組織、課自体は一緒にならないのですけれども、横並びの状態、市民の方がいろいろな所に足を運ばなくても、その1つの所に行けば対応できるような考え方で、今は進めておるところでございます。</p>
事務局	
委員長	<p>ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>50ページと51ページの新規というか、50ページに2-1-1-6の「プレママサロン」というところと、51ページの2-1-1-7という「産後ケア」のところ。主にプレママサロンですが、この間も少しお聞きしたようにも思うのですが、出産にあたっては、主に出産のお話とか相談に乗ってくれるとかがあるのかなと思うのですけれども、生まれてしまうと生まれたで、赤ちゃんがいるので、結構時間がいっぱいいっぱい、0歳、1歳、2歳くらいまでの育児の情報をなかなか取りに行けないという状況がいつも生まれているのかなと思っています。それで、プレママサロンの時に、出産のことだけでな</p>

事務局	<p>くて生まれたあと、1年、2年くらい、どういう感じで子どもが育つとか、どういう子育てをしたらいいとか、そういう相談ができる、あるいは何か講座みたいなものが用意されているのかどうかをお聞きしたいと思います。</p> <p>プレママサロンにつきましては、主にお母さん同士が集まれる場ということで、今設定のほうをしております。主には、出産後につきましては、今一番人気があるのが沐浴のところで、したことがないお母さんが多いので、それを実際一緒に経験してもらおうという場を、今はつくっております。あと、1歳、2歳までの部分での情報提供は、今はできていないのですけれども、時期を追いながら、乳児保健相談、3～4カ月の健診、10カ月健診、1歳半健診、3歳児健診という健診の場を通しましても、そこでのお母さんの子育ての心配なことや不安なことなども受け止めながら、必要な相談や教室へのご案内というのはさせていただいているのが現状でございます。</p>
委員	<p>生まれてしまうと、ベビーを抱えているのでなかなか育児のための情報を取りに行けないので、結局分からないまま子育てしてしまって、「ありゃ」ということになっているので、先にプレママの段階でフォローアップをやってあげたら、まだ赤ちゃんがおなかにいるので、情報を取りやすいかなと思ったのです。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>産後ケアの宿泊型とか通所型の利用は無料なのですか。</p>
事務局	<p>産後ケア事業の宿泊の利用料についてですけれども、一応、負担金があります。一般の世帯の方と市民税非課税の世帯の方と生活保護世帯の方で、利用料はそれぞれ違うのですけれども、いずれも頂く形にはなっております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回、このようなプランの計画を作っていただいているのですけれども、子ども・子育て・若者という名称ではあるのですけれども、広範囲にわたるところを非常にバランスよく現状と課題を見極めながら、今説明がありましたように、今後の施策に期待する</p>

<p>委員長</p>	<p>ところもあって、非常にバランスよく作っていただいたとっております。</p> <p>ありがとうございます。最後でございますので、思い当たるところがございましたら、どうぞご意見、お願いいたします。</p> <p>ご意見、ご質問を頂きましたが、他にないようでしたら「高砂市子ども・子育て・若者支援プラン案」につきまして承認を頂いたということでもよろしいでしょうか。承認する場合は、拍手でお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【委員 承認の拍手】</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。承認を頂きましたので、こちらの内容で、後日、私から市長に答申をさせていただきます。また、本日の会議後の微調整等につきましては、私と事務局に一任させていただきますよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【委員 拍手】</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。その他のご意見を何か聞かせていただきたいと思いますが、この2年間を通して、感想などがあればよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどもご意見出しておりましたけれども、私は、小さな子どもだけに限定せず、本当に若者まで視野を広げて、トータルに考えていくというこの高砂市の考え方というのは、本当に素晴らしいなと思って、いつも参加させていただいております。</p> <p>子どもを育てる人にしてみても、結局、小さい時だけが大変ではなくて、ずっと継続していく、いつの時期であっても市としてのこのサポートがあるということを1冊にまとめていただくことによって、目に見える形で分かるような気がしております。</p> <p>委員として十分な役割を果たすことができていなかったかもしれませんが、本当に参加しながら学ばせていただけること、とてもたくさんありましたので、ぜひ、この計画を実現に向けていただけたらと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>これは、全く個人的な希望ですけれども、高砂市は周りに姫路市、加古川市ともかなり隣接しています。他市と比べてのいろいろないい点、あるいは他市に負けている点が</p>

	<p>あると思うのですが、保育無償化、教育無償化に伴って、3歳から預ける子どもさんも増えて、高砂市は、他市の姫路、加古川、明石と比べましても、待機児童が、一応ゼロということです。それだけの保育、教育、就学前の子どもの施設があるというのは、他市と比べても強みなので、現在、保育の基準というのがありますけれども、預けたい人が預けられるように。今は、仕事をしていないと預けられないという、特に保育園、こども園、年少は0歳、1歳、2歳あるのですが、待機児童がないということで、もう新しい施設をつくらなくてもいいので、その他市と比べていいところをさらに生かすためにも、希望する者がみんな預けられるような施設づくりに頑張っていっていただきたいと強く思っています。</p> <p>希望的なことですが、また考えていただけたらと思います。</p>
委員	<p>2年間、どうもありがとうございました。現場として、とにかく人員の確保というのがここ数年の願いです。大変ご苦労だと思うのですが、引き続きお願いしたいと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>2年間、どうもありがとうございました。主に学童保育のことでいろいろ意見を言わせていただいたのですが、全然関係ないことで、ここに記載なくても全然いいのですが、ファミリー・サポート・センター事業は在住の方のみしか登録できないのですね。私も登録したいと思っても、登録できないなと思いましたので、在勤でもいいようになったらいいなと思いました。すみません、ありがとうございます。</p>
委員	<p>いろいろありがとうございました。私はこども園ですから、いつも乳児、幼児を中心に見せていただいているのですが、これもあまり関係ないかも分かりませんが、市の体制、担当の方とか、窓口が非常に高砂市もある意味でこぢんまりしていますので、非常に温かさのあるというかアットホームな形で、事業者のほうも、多分窓口に行かれた保護者の方も非常に気分よく対応していただいているなど、いつも助けていただいているなど思っております。また、今後とも、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>まずは、2年間どうもありがとうございました。高砂市労働者福祉協議会ということで、労働者の立場として出席させていただいたのですが、やはり我々、会社の中でも、特に共働きが非常に増えているところもありますので、この高砂市の中で待機児</p>

	<p>童がゼロだということで、非常によく取り組んでいただいていると思っています。</p> <p>我々の会社の中で、企業内保育園の設置とかの要望も受けることがあるのですが、高砂市の中では待機児童ゼロだということで、まずは近隣のこども園、保育園を利用してほしいというところで回答している状況もあります。策定していただいたプランに沿ってしっかりと進めていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>1年間だけの参加で、前半のほうは主人が参加していてほとんど参加せずに、後半の2回ほどしか参加しなくて、どんなことをやっているのかというのは参加してみるまで分からなかったのですけれども、こういった話し合いがあって子育てのこととかが決まっているのだと、改めてい勉強をさせていただきました。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>1年間、ありがとうございました。いろいろたくさんの資料も見て、こうやって子育てのいろいろな施設や設備ができてきているのだなど、あらためて実感しまして、今まさに育児の真っ最中で、本当に子どもを育てるのは大変なことなので、これからはいろいろと住みやすく、子育てをしやすい町にさせていただけたらと思います。</p> <p>あと、少し施設的なところで言うならば、以前、私は姫路にいたので、よく姫路市の児童館を利用していたのですけれども、途中から高砂市に来たので、高砂市にどういう施設があるか、広報で調べてから行くということにしていたのですけれども、どうしても希望的なところとか、あと、行きやすさとかを考えると少し不便かなということ。</p> <p>あと、1人だけ連れて行くのであれば、その子の年に合わせてその施設に行くことができるのですけれども、例えば、3歳、4歳年が離れると、上の子と一緒に連れて行けて一緒に遊べる施設というのがあれば、なお助かるかなということ。</p> <p>あと、週末の土日、どこの施設も開いていないとなったら、行き場を失うというか、どこに連れて行こうかなということで、姫路市と比べてしまうのですけれども、例えば星の子の館でしたら、週末土日も開いていたので、そこに連れて行ってほぼ1日遊ぶことができるという施設でかなり助けられたので、これから高砂市もそういった施設ができたり、もう少しどういった施設があるかというのが分かりやすい、何か一目で分かるような資料があれば探しやすいと思うので、そういった点、もし今後何かありましたら、お願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>連合PTAのほうから参加させてもらいました。私のほうも、お礼とお願いというこ</p>

	<p>とで、少しお話させてもらいたいです。</p> <p>先ほど、姫路と言われたのですが、私の場合、昨年度連合PTAの会長をさせてもらっていて、高砂、加古川、明石、播磨町の当番地区の会長さんといろいろな話をさせてもらって、いろいろなことを勉強させてもらって、1つ目のお礼としてはエアコンを今年の夏に間に合わせていただいたこと。これは、先日のPTAの総会でも、市長さんと教育長さん宛にお礼のほうをさせてもらいました。中学校でいうと、給食センターの設置をしていただいて、今年から給食ができるということで、それを急いでいただいたことは、本当に感謝しております。</p> <p>今後の経過報告的なことで言わせてもらいますと、現在、エアコンが設置されているのは普通教室だけということで、これをいち早く体育館であったり特別教室であったり、音楽室に設置していただけるように、連合PTAのほうからのお願いということで、検討をお願いしていただけたらと思います。一部、いろいろな先生にお話を聞いたのですが、音楽室は性質上、夏ですと、窓を開けて演奏をすると近所に迷惑がかかるので窓を閉めて演奏をするということで、やはり早くエアコンが欲しいということと、あと、化学室とか研究室になってくると、今、ただでさえ子どもたちが、研究とかそちらのほうに興味を示していないのに、暑い中でそういう研究とか実験をするということになると、ますます離れていくのではないかということをおっしゃっていましたので、いち早く、特別教室のほうのエアコンを検討していただきたいということのお願いということで、私のほうから話をさせていただきました。</p> <p>本当に、私も1年だけだったのですが、いい勉強をさせてもらったと思っています。ありがとうございました。</p>
委員	<p>2年間ありがとうございました。私も仕事の関係で、保育関係のことで少し考えることも多くて、また、こういった会議に参加させてもらって、それ以外の方針であったり施設のものからそういった内容まで、いろいろ幅広く教えていただく場だったかなと思います。こういった会議に参加させてもらって、いい経験になったと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>2年間ありがとうございました。6年間高砂市で子育てしているのでありますが、ここに来て、「ええ、そうなんや」みたいな、高砂市はいろいろ子育てのことをたくさんしてくれているのだなというのをたくさん勉強させてもらいました。</p>

	<p>1つだけ、今日は、私、子どもの習いごとに行って、帰ってきて、ぱっとプリントを見て来ただけなので、間違っていたらあれなのですけれども、小学校の給食費が100円上がるというプリントがあったのです。幼稚園が無償化だったら、小学校もそのままだったらありがたいと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>2年間ありがとうございました。私は、公募で学生として来たので、ほかの委員の方々のように子育ての経験や社会での経験などがまだなく、皆さんのような経験が少なく至らない点などが多くありましたが、今回、この2年間、会議に参加させていただいて、自分が大学で学んだこと以外の福祉に関する情報を学ばせていただき、とても有意義な時間を過ごせたと思います。特に、自分としては待機児童ゼロというところを、これからも続けていただけたらと思います。ありがとうございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>多数のご意見を頂きまして、ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和元年度第2回高砂市子ども・子育て・若者会議を終了します。委員の皆様には、高砂市子ども・子育て・若者支援プランの策定、並びに子育ての支援についてたくさんご意見を頂きまして、ありがとうございました。また、たどたどしい進行でございまして、いろいろとご迷惑をかけたことだと思いますけれども、皆様のご協力の下で、今に至っております。ありがとうございました。</p> <p>今後とも、高砂市さんの子育て、質と量をいろいろ調整していただいて考察していただいた中で、それを進めていただくことを皆さんの目で確かめて、それからすくすくと育っていけるような子育てということで、これからもご協力のほど、よろしく願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>ここで、進行を事務局にお返しいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員長、並びに委員の皆様、高砂市子ども・子育て・若者会議のご審議、ありがとうございました。長期にわたりご協力いただきました委員の皆様には、副市長からごあいさつがございます。</p>
<p>副市長</p>	<p>3 副市長あいさつ</p> <p>本日は、本当にお忙しい中、お集まりいただきまして、また、ご熱心にご協議をいただきましたこと、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。</p>

委員長はじめ委員の皆様には、この高砂市子ども・子育て・若者支援プランの第2期子ども・子育て支援事業計画の策定にあたりまして、昨年度から2カ年にわたりましてご協議をいただいております。この2カ年の間には、子育て関係でいきますと、先ほどもお話がありましたが、幼児教育・保育の無償化、国の施策もありましたけれども、大きな変化ではないかなと。また、高砂市としては、独自に、副食費の無償化等も併せて行わせていただきました。また、ほかにも児童虐待への取り組みについても、市としましては、防止につながる周知や啓発にも、また改めて努めてきたところではございます。

今後も、本日はご承認を頂きましたこの第2期計画を含め、子ども・若者の健やかな成長と、子育ての安心を支える環境を整備するためにも、総合的な計画として、この支援プランを着実に進めまして、平成6年度までの計画ではございますけれども、切れ目のない支援を進めてまいりたいと考えております。

また、今日は最後に、皆様、委員一人一人の方からご意見を頂きました。全部にお応えするわけにはまいりませんが、最後の待機児童ゼロのことについて、ご評価を頂いております。先ほど園長からもお話がありましたけれども、なかなかこれをゼロにしようとするば、私立の保育園も同じだと思うのですけれども、本当に今、各市も皆、何とか保育士を確保するのに一生懸命というような状況でございます。高砂市だけがこれを今できるかどうかというのは、本当に瀬戸際だなとも思っておりますけれども、しっかりとこのゼロというのは、高砂市の特徴として、また、子育て支援に対する取り組みの本気度というものを表す意味でも、しっかりと守っていきたいと考えているところでございます。

それから、ファミサポとか、福祉、あるいは子育ての施策の充実などにも、ご評価、あるいは意見を頂いております。これらにつきましても、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

また、児童館については、姫路市との比較、姫路市さん、明石市さん、神戸市さんに比べると、どうしても市の規模の大きさによって、確かに持てる施設と持てない施設というのがありますので多少差はあるかもしれませんが、小さいながらもしっかりと施策としては取り組んでまいりたいと思いますので、この計画の中で盛り込めたいかもしれませんが、今後の課題かなとは考えております。それは、確かに、流入人口といいますが、人口を減らさないという施策の中でも必要な施策かなとも考えているところでございます。

それから、学校のエアコン、確かに普通教室には何とか入れられましたけれども、特

<p>事務局</p>	<p>別教室にはまだ入れられていない。災害時に備えましても、体育館には入れたいというところもございました。ただ、学校関係だけで考えますと、学校の老朽化対策についても多額の経費がかかるというところもございまして、決して財政的には楽な状況ではございませんけれども、子どもの安全・安心という意味でもこの老朽化対策と併せて、エアコンにも取り組んでいく必要がある。これは、計画的になりますけれども、しっかりと取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますけれども、いろいろな意見を頂きましたことにつきましては、今後も市の施策にできるだけ活かして、取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも、高砂市のこの施策を進めるにあたりまして、ご指導、ご鞭撻、またご理解をいただきますことをお願い申し上げます。私からの最後のあいさつとさせていただきます。</p> <p>本当に2年間、どうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、「令和元年度第2回高砂市子ども・子育て・若者会議」を閉会いたします。これまで、委員の皆様には、貴重なご意見、ありがとうございました。また、ご審議につきましても、誠にありがとうございました。</p>
------------	--